

YUIMA NAKAZATO



YUIMA NAKAZATOは2022年1月27日、11度目のオートクチュール・ウィークへの参加となる2022年春夏コレクションを、2年ぶりとなるパリでのランウェイ・ショーを通じて発表しました。

コレクションのインスピレーションとなったのは、様々な神話に登場する想像上の生き物Chimera。しかし現代において、それらは現実に創り出すことが可能になりつつあるといえます。

想像が現実へと変わる、その途中の曖昧な領域は、最先端の科学や先人の知恵などを結集し導き出される、人類がたどり着いていた最も先端の領域と言えるでしょう。

タイトルのLIMINALとは、何かと何かの間にある、曖昧な領域を意味する言葉。今シーズンのコレクションでは、この曖昧な領域こそ新しい価値観と可能性の象徴と捉えました。

クリエイティブ・ディレクション：YUIMA NAKAZATO

フォトグラフィ：菊間 康成

ヘアメイク・ディレクション：計良 宏文 (資生堂)

スタイリング：Robbie Spencer

音楽：坂本 龍一、Senjan Jansen

アーティストック・コラボレーター/ダンス・パフォーマンス：Nanine Linning

ダンス・パフォーマンス：Ève-Marie Dalcourt, Evgeny Ganeev

ソーシャル・レスポンシビリティ

YUIMA NAKAZATOでは、衣服の進化がより豊かな未来を創造するというビジョンのもと、未来に対する責任を果たしていくため、使用する素材とその調達先、長く着用しそして循環させることを前提にした衣服作りを一貫して続けてまいりました。加えて、廃棄を一切出さないプロセスも開発中です。

Brewed Protein™ 素材を含む天然由来素材をベースに衣服を制作し、ネームタグや品質表示含め、可能な限り枯渇資源である石油由来の素材の使用を減らしています。さらに、循環の視点からモノマテリアルでのものづくりを目指していますが、インクや顔料、そして縫製糸など機能的な観点から石油由来の素材を選択して

いるものもあります。（また、本コレクションの刺繍糸においては、必要な物性を担保するために石油由来の糸をごく一部使用しています。）これらの課題に対処すべく、産業の垣根を超えて様々なパートナーと連携しながら、革新的な技術、プロセス、そしてスタイルを確立して行きたいと考えています。

甚大な環境負荷をもたらしているファッション産業ではありますが、一方で、私たちはファッションの持つ力を信じています。クチュール・ブランドとして、むしろファッションの力を用いて、YUIMA NAKAZATOの描く衣服を中心とした豊かで持続可能な人類社会の実現のため、引き続き、取り組んでまいります。

デザイナー・プロフィール

1985年生まれ。2008年、ベルギー・アントワープ王立芸術アカデミーを卒業。2015年に「株式会社 YUIMA NAKAZATO」を設立。2016年7月にはパリ・オートクチュール・ファッションウィーク公式ゲストデザイナーの1人に選ばれ、コレクションを発表。その後も継続的にパリでコレクションを発表し、テクノロジーとクラフトマンシップを融合させたものづくりを提案している。また自らが発起人となり、2021年7月より、未来を担う次世代のクリエイターのためのFASHION FRONTIER PROGRAMを創設。オートクチュール・ファッションウィークを通じて最先端のファッションを提案しながら、社会的課題にも取り組む。

Information

Instagram official account
<https://instagram.com/yuimanakazato/>

YUIMA NAKAZATO official website
<http://www.yuimanakazato.com/>

YUIMA NAKAZATO Press inquiries
press@yuimanakazato.com
afumi_info@afumi.co.jp
KCD Paris bize@kcdworldwide.fr